

経営力向上計画の作成などにより 設備投資や技術の継承へ

課題

新規受注に向けた 設備投資の資金調達

竹越精工株式会社は、図面と加工材料の支給を受け、図面から材料の性質を考慮し、機械設備と熟練の技術を用いた加工を行っている会社だ。

昭和63年に先代が創業した竹越鉄工所を継ぐため、現在の経営者が平成2年より後継者とし家業に入った。平成16年に事業を引き継いで事業主となった経営者は、平成23年9月に鉄工所を法人化。現在の竹越精工株式会社を設立した。

同社は柿崎区内で唯一の下請専門であり、全体売り上げの90%を占めている。

他社にできない顧客の要望を実現する技術力は、業界内でも高く評価されているが、受注先の業況により、売り上げ、利益が左右されることが経営者の悩みだった。

また、現場を任せる従業員が定着しないことも課題で、経営者は、熟練工から若手従業員への技術の継承が進んでいないことにも頭を悩ませていたが、現在はおもに若い女性社員の雇用をして、技術の継承を少しずつ進めている。

そんなとき、取引先から1加工行程の部品受注から、新規の加工工程などの部品受注が必要となり、工作機械に係る設備投資のための資金調達が不可欠となった。これをきっかけに、経営者は柿崎商工会に相談を行った。

支援

事業計画の作成が 事業承継にもつながる

商工会では課題解決に向けて、事業計画の作成支援を行うとともに、経営力向上計画申請のための支援を行った。

また、将来的に現経営者が後を継ぐことが決まっていたため、事業計画の作成を行う際に経営者だけ話し合うのではなく、後継者にも加わってもらうことでスムーズな事業承継につながった。

新設備導入のための資金調達については、商工会のマル経制度の利用を支援した。

こうした商工会の支援により、新設備の導入を果たした同社。あらたな設備投資により、加工工程の自動化や精度の向上、リードタイムの短縮、部品および原材料の共通化などの取組みを進めることができた。

さらに、加工の幅が広がったため、新たな部品加工の工程



加工工程で使用するマシニングセンタ

受注ができるようになり、売り上げが1.5倍増加した。

今後は新設備のオペレーターの増員も検討しており、新入社員を雇用して人出不足の解消と技術の継承に力を注ぐ予定だ。また、主力取引先だけにとどまらない、あらたな受注先からの受注拡大も目指す。

支援の経過

期間	支援内容
H29年11月	ヒアリング開始、 経営力向上計画の申請支援
12月	経営力向上計画の承認

会社概要

会社名：竹越精工株式会社
住所：新潟県上越市柿崎区山谷810
電話番号：025-536-6341
代表者名：代表取締役 竹越安博
創業年：昭和63年
年間売上高：4044万円（平成29年）
従業員数：5名
商工会名・担当者名：柿崎商工会・保坂敏雄